

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在オマーン大使館

記入日 平成26年11月10日

1. 現地の建設工事に係る経済情報

資料名：該当なし。

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向

該当なし。

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	<p>「マスカット市鉄道接統計画」：</p> <p>(1) 13日、運輸通信省主催によるオマーン公共交通会議が開催された。同会議では、スペインのエンジニアリング・コンサルタント企業のイネコ社が、運輸通信省の委託の下策定したマスカット市内の公共交通に関するマスタープランの概要が発表された。同計画の目的は公共交通機関を設計し、市民に自家用車に代わる移動手段として利用を促すもの。</p> <p>(2) 同マスタープランでは、公共交通、公共交通に関する規則・組織、都市バス制度、タクシー・マイクロバス部門、海洋交通サービス及び都市鉄道システムの5つの分野について議論されている。同マスタープランによる提言には、次の事項が含まれる。</p> <p>(ア) マスカット市における統合交通網（都市鉄道含む）の発足</p> <p>(イ) タクシーのサービスの質及び運賃に対する規制</p> <p>(ウ) 都市鉄道網とその他の交通形態との統合</p> <p>(エ) 公共交通機関を所轄する政府機関の発足（交通網の決定、計画立案、投資、タクシーに対するライセンス発行、公共交通のマーケティング・プロモーション等を実施）</p> <p>(オ) 主要移動手段に行き着くまでの支線の設置、バスやライトレールを主要移動手段とする利用者に対する駐車場の設置</p> <p>(カ) 海上交通の導入</p> <p>(3) 同マスタープランは、次の4段階に分けて実施される見込み。</p> <p>(ア) 第1段階：公共交通監督機関の設置、都市バス交通網の拡張</p>	<p>2014/10/13</p> <p>・ Observer</p> <p>2014/10/14</p> <p>・ Observer</p> <p>201/10/15</p> <p>・ Observer</p> <p>・ Times of Oman</p> <p>・ Muscat Daily</p>

	<p>及びタクシーサービスの改善。</p> <p>(イ) 第2段階：都市バス交通網のさらなる拡張，新規バス停の設置，公共交通機関に乗り換えが可能な駐車場の整備等。</p> <p>(ウ) 第3・第4段階：L T R（ライトレール）またはB R T（バス・ラピッド・トランジット（当館注：車両連結型のバスサービス））等の導入。</p> <p>(4) 同社幹部は，自家用車を利用するモチベーションを下げるような啓蒙活動が実施されるべきである。（新規バス制度が導入され）公共交通機関に対する需要が伸びた段階で，マスタープランが触れているL R TやB R T等のその他の交通機関形態が検討されるであろう旨述べた。</p>	
2	<p>中東調査会社M E E Dによると，オマーンでは1，450億ドル相当のプロジェクトが実施されている。プロジェクトの一例としては，総額260億ドル相当のドゥクム，カザン・ガス田開発，スウェイク発電所，ハイマにおける太陽光発電プロジェクト，サラールの尿素プラント，130億ドル相当のタカムール（Takamu1）社によるプロジェクト，O R P I C社によるリワにおけるプラスチックプロジェクト及び総額120億ドル相当のドゥクムの開発プロジェクト等があげられる。（16日付報道）</p>	2014/10/20 ・ Observer

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

G C C 鉄道・メトロ会議 2 0 1 5（G C C Rail and Metro Conference）が，運輸通信省主催の下，2 0 1 5 年 1 月 1 1 日～1 2 日にかけてマスカットにて開催予定。同会議では，G C C 諸国の鉄道関係者がスピーカーとなる予定。詳細は同会議のウェブサイト（<http://www.gcc-rmc.com>）にて確認可能。